

令和5年度 第4回精華町障害者基本計画策定委員会 議事概要

日時	令和6年2月26日(月) 午後1時30分から
場所	精華町役場 6階 審議会室
参加者	樽井委員、地主委員、奥委員、坂東委員、大上委員、林委員、吉村委員 市橋委員、藤田委員、杉山委員、柘植委員、河股委員 長谷川委員、細見委員、傍島委員 ※欠席委員：岩井委員、畔柳委員、吉川委員 事務局：健康福祉環境部長 岩前 社会福祉課 森田・中川 コンサル業者：ジャパンインターナショナル総合研究所 谷内田
議事	(1) パブリックコメントの結果について (2) 精華町第3次障害者基本計画及び精華町第7期障害福祉計画・ 精華町第3期障害児福祉計画(案)について (3) 答申(案)について

1. 開会

樽井会長よりあいさつ

2. 議事

- (1) パブリックコメントの結果について
- (2) 精華町第3次障害者基本計画及び精華町第7期障害福祉計画・精華町第3期障害児福祉計画(案)について
- (3) 答申(案)について

<事務局より議事(1)～(3)について説明>

吉村委員

基本計画は主に理念的なことを中心としているため、やむを得ないかとは思いますが、この計画を実現するためには財源的な基盤が必要だと思う。恐らく精華町の町民一人一人や町役場だけの力では難しい部分がある。国や京都府に財政的な支援・要望を強く求める旨、どこかに明記してほしい。

事務局

国や京都府に財源等の支援は適宜要望している。本編には明記できていないが、109ページの「計画の推進」で、京都府や近隣市町村と意見を合わせながら適宜要望していきたいということを記

載している。

樽井会長

計画に書かれていることは基本的に本気で実現することが前提なので、そこは共有されているとして、予算をいつどのように要望するか明記することは実務的に難しいかもしれない。事務局として検討の余地はあるか。

事務局

手立てがあれば検討する。

樽井会長

福祉計画は、このあと自立支援協議会等で中間の進捗管理を進めていくことになるので、丁寧に確認していく。財政的なバックアップを得る努力はこれからも常に最大限していただくということを再確認した。

ほかにご意見等あるか。

(意見なし)

樽井会長

地主副会長から全体のことでもしご意見があれば伺いたい。

地主副会長

パブリックコメントの仕組みが分からないが、募集したコメントについてこの場でやりとりをすることがないまま答申までいってしまうのがもったいない。答えるまでに、関係各課や実施機関に確認を取ったほうが、コメントされた方は納得する。

事務局

今回は基本計画に関するご意見を抽出する目的のため、それ以外のご意見に対して回答しきれないところがある。回答に当たり、各担当課には意見を聞いた。今回は、いったん社会福祉課として回答している。

樽井会長

他の県自治体で幾つかこの計画に携わっているが、パブリックコメントで出た結果にどう答えるかは難しい面がある。基本的には計画に対するコメントを募集しているが、具体の支援の話を相談される方などもいる。場合によっては緊急でお困りの方には窓口を紹介するなど、支援として対応したほうがいいかもしれない。2月9日に募集を締め切り、精華町の回答が出された段階で今日上がっているが、確かに回答について検討する場があったほうがいい。今後の課題として認識した。

林委員

パブリックコメントの 51 に「日常生活の支援」の取組ということで、「外出支援の実施」を通して移動時にかかる負担を軽減できるよう、人的及び経済的支援を踏まえた制度の運用に努めてまいります」とあるが、どのような支援をするか具体的に載せてほしい。

事務局

回答に記載した「計画案 51 ページの施策（5）」には制度や運用について具体的に書いている。質問者の状況が詳細に分からないため、必要な制度を正確に伝えるのが難しい。町としては本編にあるような制度施策を全体的に行っているという表現をしている。

林委員

経済的な支援はないのか。

事務局

経済的支援はあるが、ここで具体的に記載すると制度説明の資料のようになってしまう。

林委員

説明を希望する方に内容をお知らせする資料があるのか。

事務局

障害福祉手帳の受け取りの際や、相談に来られた方に状況に適した制度を窓口でご案内している。

林委員

どこに相談に行けばいいか分かる資料があるといい。

事務局

アンケート調査でも、どこに相談に行ってもいいか分からないという回答があった。ホームページや広報誌には載せているが、自分がどこに当てはまるか具体的に言われないと分からない場合があることは町として反省すべきである。広報啓発には努めていくということを記載した。どのような支援を求められているか把握できていなかったため、概要版の最後に相談窓口を記載し、つなげていきたいと考えている。

樽井会長

パブリックコメントを募集するときに、個別の福祉サービスや相談ができる相談窓口を併記してはどうか。パブリックコメントとしては計画に関する質問を受ける場なので答えにくいし、個別の事情を聞かないと具体的な回答は難しい。

地主副会長

相談窓口は記載されているが、相談支援に相談することが難しい方もいる。使いたい福祉サービスが自分で分かれば相談しやすいが、何となく知りたいという程度でこれまで関わったことのない相談支援に連絡を取るには勇気が要る。子育て支援課では子育てに関する制度を網羅し

た冊子「SukuSuku」を配布しているので、自分で調べやすい。障害福祉は制度が複雑な上、数年おきに変更があるので情報をまとめるのが難しいが、障害児・者が、自分が使えそうなサービスを見つけやすい資料があるといい。町のホームページにも載っているが正直あまり見やすくない。自分で意識的に地域の方が情報を集めやすい仕組みがどこかにあったほうがいい。

事務局

概要版の最終ページに相談支援事業所や「障害者福祉のてびき」について記載している。QRコードを付けられないかと考えたが、制度変更の際にホームページの掲載場所が変わってしまう可能性もあり、載せられなかった。「障害者福祉のてびき」で検索すれば京都府のホームページが出てくるが、大変なボリュームである。手帳を受け取りに来た方や相談に来られた方には、毎回書類を渡して見方をお伝えし、情報収集の一助として使っていただくようにしている。

樽井会長

計画はほぼ完成したが、今後の進捗管理が大事である。計画の運用段階で修正すべき点が出ることもあるし、定期的なモニタリングが重要になる。検討する場として自立支援協議会が主要な役割を担うことになるが、会長である坂東委員から最後にご意見を頂きたい。

坂東委員

進捗状況の管理をタイムリーにできるかは分からないが、絵に描いたもちにならないようチェックしていく必要がある。当事者の声を掲載したのは良い発想だと思う。

樽井会長

私も協議会委員なので、今後、この計画をどう実現していくか意識していく。当事者の声についても同感で、レイアウトも見やすい。この場で即答できなくても意識化するのが大事なので、見える形で出していただいてよかった。

他に意見はないか。

(意見なし)

樽井会長

今後、これまでの議論を含め、この案を大きく変更することはせず、事務局に若干の微調整をしていただき、最終案として町長に答申を提出する。これまで力添えいただき皆様に感謝する。

3. そのほか

事務局

委員の皆様には大変ご多用の中、精華町障害者基本計画策定のために全4回にわたり策定委員会にご出席・ご議論いただき、厚くお礼申し上げます。

4. 閉会